

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名

周産期母子医療センターネットワークの構築およびハイリスク児のアウトカム分析』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 新生児科 職位・氏名 院内講師・荒井 博子

【研究の目的】

近年わが国の総出生数は減少していますが、低出生体重児の出生数は上昇し、結果的にハイリスク児の出生率は増加しています。一方で、新生児死亡率は減少を続けており、新生児医療技術が日々向上していることを示しています。しかし、低出生体重児の死亡率や疾患の合併症率が十分に低くなったとは言えず、さらに予後を向上させる余地が残されています。

そこで、東邦大学医療センター 大森病院 新生児科(総合周産期母子医療センター)では、新生児臨床研究ネットワーク(NRN : neonatal research network)に参加し、低出生体重児のデータ登録を進めたいと考えています。

この研究は、全国の総合周産期母子医療センターに入院したハイリスク児のアウトカムを分析することで、予後の改善あるいは悪化に繋がる診療行為を特定し、このような解析結果を各施設へフィードバックすることにより診療の標準化を行うことを目的としています。

この研究で得られる成果は、全国のハイリスク児の予後を改善させることにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。
(倫理委員会承認番号:M21321 18221 16077)

対象者:2003年1月以降、東邦大学医療センター大森病院 総合周産期母子医療センターに入院された低出生体重(出生体重 1,500g 以下) または早期産(在胎 32 週未満)の方

方法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、合併症等の発生状況、個人情報 等

【外部への試料・情報の提供】

周産期・新生児・乳幼児期の入院診療、および外来フォローアップ等に関する調査票に記録された情報を、あなたの個人情報が分からないように管理します。

【研究組織】

代表施設名: NPO 新生児臨床研究ネットワーク 研究代表医師: 楠田 聡

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

新生児科（総合周産期母子医療センター）

職位・氏名： 院内講師・荒井博子

電話 03-3762-4151 内線 6665(新生児科医局)